

幼 兒 教 育

第 二 十 二 卷 第 五 號

大 正 十 一 年 五 月 十 五 日 發 行

目 次

童話の遊離性に就いて……………松村武雄

玩具製作と家庭教育……………藤五代策

幼稚園の同窓會……………甲賀ふじ

春の自然に親ませよ……………平島權藏

幼兒の遊戲について……………小向喜美子

兒童就學前の衛生……………豐田作太郎

歐洲兒童の健康狀態に就いて(ジョセフソン)

雜 報

日 本 幼 稚 園 協 會

會 告

○會費御拂ひ込みの節は御名前は初め御入會の時の御名前と同じにして頂きたう存じます。例之ば初め幼稚園名にて御入會になり、後、個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき様に願上ます。整理上甚だ煩雜致しますから。

○會費未納は會計整理の上に甚だ困難致しますから確實に御納付下さいまし。向後萬一御不納久しきに亙ります場合は乍遺憾雜誌發送を停止致します。

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願ひます。

○萬一本誌不著等のことがございましたら直に御一報煩したう存じます。

本誌定價

一冊(郵税共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢
十二冊 前金 參 圓 (郵券代用壹割増)

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正十一年五月十二日印刷
大正十一年五月十五日發行

東京市外中野町千光前三〇三〇番地
編輯兼發行者 倉 橋 惣 三
東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷者 柴 山 則 常
東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所 會社 杏 林 舍

發行所 日本幼稚園協會

幼 兒 教 育

第二十二卷
第五號

大正十一年五月十五日發行

童話の遊離性に就いて

一、童話の起原

童話の起原に就きましては、從來四つの説が唱へられて居ります。

(a) 第一に童話は神話の渣滓である、と云ふ説であります。マクス、ミュラー一派の唱へたものであります。その説によりますと、古代神話の神々が、古代傳説の半神又は英雄に變じ、又其の半神及び英雄が後に童話の主人公となりこれを中心として話したものが童話である、といふのであります。

然しながら、この學説には弱點があります。それは、神話と童話が同一或は類似の事件を含む場合、後者は前者の渣滓だとは限つてゐません。兩者とも、

文學博士 松 村 武 雄

更に、古い共通の根原より生れた、といふ證據が多々あります。

(b) 第二に、童話はすべて印度の梵語文學から發生したものであつて、ベタに書かれたものが、後代になり四方に傳播されたものである、と云ふ説であります。英國のジョージ・コックス等の唱へる説であります。

然しながら、印度起原説も其を裏切る數多の事實があります。

1、印度アーリアンでない民族が多くの童話を有する事。其の民族は印度アーリアンと嘗て接した形跡がない事。

2、ベダの書かれる以前に出來たと思はれる童

話がエジプト等に存する事。

これを見ましても、ヨーロッパに語り傳へられてゐる多くの童話は、大部分は印度に基源を發してゐるにしても、總てが印度から起つたとは云へなくなるのであります。

(c) 第三に、童話とは原始民族が自然物素及び自然現象に對する觀察の記録であると云ふ説もあります。ドイツのマクス、ミュラー等の唱へたものであります。

之に依ると、未開民族が、太陽、曉、風雨、雷霆に就いての自然的の叙述をなしたものが、後代になつて本來の意義が不明となるに従ひ、物語化して童話となつたといふのであります。この學説は、英國の人類學的童話學者アンドリウ、ラングに依つて全然破壊されてしまひたした。

ラングの云ふ所に依れば、野蠻民族は、自然物素や自然現象について、科學的に觀察し叙述する以前に、其のうちに、生命あり感情ある生物を觀する。

従つて、自然の科學的叙述の生れるに先だつて、物語が先づ第一に發生してゐるといふのであります。

而して人類學や民族心理學の示す所に依れば、ギリ

ム等の説が否で、ラングの説が是である事が解ります。

(d) 第四に、ラング等の人類學的童話學者の唱へる學説に依りますと、童話は低い文化階級の民族が物語に對する興味の要求を充さんが爲めに、又、其等の民族の間に神聖視されたところの風習、信仰、道德律、社會制度、其等を Young Generation に教示せんがために、民族間の古老が語つた物語であります。而して、同一の文化階級に於ける各民族の風習、信仰、思想等は、極めて相類似してゐます。且つ又、低い文化階級に於ては、民族の經驗は、甚だ狭い範圍に極限されてゐます。さうして、この二つの事實が、物語を産む創造的能力を支配するから、各民族お互に關係なく、獨立的に産み出した童話にも、著るしい同一性、若しくは類似性が現れるといふのであります。私の見るところでは、この説が最も穩當で、蓋然性が多いと思はれます。

二、童話の遊離性

第四説を童話の起原とするならば、各民族がお互に接觸交通しなくとも、彼等の童話の間に、或る程

度の同一もしくは類似の内容のあるといふ事は、自然の結果であります。然し、廣く各民族の間に見え出される童話にして、其の内容をなす多くの事件及び其等の事件の配列が、精細に同一である場合には、ラング氏等の云つたやうに、風習、信仰、思想の類似を以て、之を解釋し難い事情があります。それでラングはまた之に對し説を出して云ふには、童話は神話は神話傳説等と異つて、時代、方所、人物の確定性を有しないのであります。時代から云へば、「むかし／＼」でよろしいし、方所は、「あるところに」でよろしいし、人物は、「おちいさん、おばあさん」でよろしいのであります。それ故、童話は、如何なる所に生れたとしても、容易に本來の生地を離れて、他の地方もしくは民族の間に傳播し易いのであるといふのであります。それを童話の遊離性と云ひ、又、童話を稱して、説話學上で、遊離説話といふ所以であります。かやうに、童話は、強烈な遊離性を有するが故に同一の童話が、世界の殆んど各部に見出されることがあります。この場合には、之を説話學上で、世界大擴布説話といひます。二三の實例を擧げるならば、

日本の「猿の肝取り」の話は、印度に起原を發し、佛本行經及び經律異相に出てゐます。支那に傳來して、祖庭事苑中の一物語となり、更に、朝鮮に姿を現し、「三國史記」中の物語となり、又、チベットに傳播しては、O'Connor: Folk Jales from Tibet に載録されてゐます。更に興味ある事實は、この物語が遠くアフリカの黒人の間に見出されるといふ事であります。即ち Swahili 族の物語によると「昔、鯨の王が病んで、醫藥に猿の肝を求めてゐる。すると、部下の鯨が海邊の果樹に住む猿と親しくしてゐるので、之をあざむいて海上に連れ出します、すると日本の物語における如く猿は肝が入用なのだとかると、樹上に殘して置いたと云ふ奇智で、其の場を脱する」と云ふ筋になつて居ります。

また、「鼠の嫁入り」の話は、岡白駒の「奇談一笑」に漢譯されてゐますから、寶曆明和の頃には、民間に語りつたへられてゐる事が解ります。更に古くは、三養雜記、その他に、大岡越前守が、萩生徂徠の博識をためす爲に、鼠の嫁入りの話の出所を尋ねた、といふ事が出てゐますからして、享保時代にも日本にあつたと云へますが、我國に於ける最古のもの

しては、無住法師が弘安二年から六年にかけて完成した沙石集に出てゐる話であります。従つて少くとも、六百三十餘年前には、日本に存在してゐたわけになるのであります。而してこの物語も日本で生れた話でなくて、明かに印度から傳來のもので、即ち印度古代の訓話集なる、Panchatantra (巻二), Katha Sarit Sagara (巻二), Hitopadesa 等に、同一の話が含まれてゐます。セイロン島には、今日でも民間に語り傳へられてゐるさうで、H. Parker 氏の Village Folk-tales of Ceylon (一巻) に出てゐます。

三、遊離性と國民性との關係

童話は、神話及び傳説と同じく、或る民族の或る文化階級に於ける心的產物であるから、其の中には、其の民族の國民的性情が鮮明に反映してゐるのは、當然であります。之を日本の童話に就いて云へば、歐洲諸國の童話に比して、明るい滑稽、諧謔が甚だ多量に潜在してゐます。例へば、古事記に著れた大國主命と少名彥命との競争の話の如き之であります。その話は次のやうであります。「少名彥命は土を澤山入れた畚を脊負ひ、大國主命は大便をこらへて、

遠い路を歩きつこをして、大國主命が遂に我慢しきれず敗けた。」といふのであります。

ギリシア人は美に對する強い愛好を有してゐる故に、美的な競争の物語が非常に多くあります。アポロとアルシアスとの音樂の競争の話やアテテとアラクテと云ふ少女とが精巧な機械の競争をした話等がその例であります。

北歐神話は殺伐で、多飲多食でローマ人から海狼とよばれた位でありますから、競争の話と云へば、飲みくらべ、食べくらべの話が多くあります。一二の例をあげて見ます。「ロキー(火の神)と巨人とが食べくらべをして、大きな鹽に肉を入れ、ロキーは肉だけしか食べられなかつたが巨人は肉ばかりでなく鹽まで食べてしまつた。」といふ物語があります。又「雷霆神トルが巨人と飲みくらべをして、其時に巨人が角盃に酒を滿してトルに渡し、巨人は一口に之を飲んでしまふ、如何なる弱者でも三口以上に飲む者は居ない、と云つたので、トルが一口に飲みつくそうと息の續く限り角盃を傾けると、何度飲んでも少ししか減らないのです。不思議に思ふと、巨人が説明して云ふには、目には見えぬが角盃の下端には穴が

あいてゐて、それが海に接してゐる、トルが鯨飲したために、海の水が幾分か減つた、」といふ物語の如きものであります。

日本の童話に表れる如意寶の能力は、ヨーロッパ及びアラビア等の童話に表れる如意寶の能力に比べるゝ、すこぶる制限的であります。ヨーロッパ及びアラビアの如意寶には、瞬間にして、千里を飛ばす毛皮や、忽然として巨大な城や都市を出現させるランプ等があらはれてゐますが、日本の如意寶は、かやうな法外な絶大な能力を發揮するものがありません、精々米倉を出すとか、もしくは永遠に使用して盡きない布帛、もしくは人を見えなくするかくれ笠、かくれ隠蓑と云ふものが、如意寶の最高の限度をなしてゐます。しかし、説話學の教へる所に依れば、如意寶は各民族の生活上の欲望の顯現である、と云ひます。さうしたならば、日本の如意寶が、その能力に於て甚だ制限的であるといふ事實は、日本人が歐洲人等に比して欲望の淡泊である、といふ事の反映でなくてはならぬ事になります。

又日本の童話には、超人間的靈格に對する揶揄、翻弄の趣がすこぶる濃厚に、且つ頻繁にあらはれて

ゐます。例へば、餌差十王の物語に於ては、機智に富んだ男が、閻魔大王に鳥獸の肉を食はせて、人間界にかへる許可を得たといふ物語があります。又、朝比奈物語に於ては、朝比奈が地獄で閻魔大王を征服し、自分の金棒をかつがせて諸國を巡遊させた、と説いてゐます。又、梅津長者物語に於ては、主人公が盜賊の難をまぬかれたのを祝して、あの妙な格好をした七福神が相撲を取つた、といふ物語があります。

かくの如くして、すべて、日本の童話に於ては超人間的能力を有する靈格、換言すれば、當然民衆の信仰、崇拜の對象となるべき存在までが、民衆の滑稽化の材料につかはれてしまつてゐます。かくの如き事實は、西洋の童話に於ては、日本ほど著しくない現象であります。これ、日本人が全體として、樂天的、現世的で、洒落、滑稽の氣分に富んでゐる事の致すところであると思ひます。

かくの如く童話は、或る程度迄は、國民の性情を反映させるものでありますが、こゝに童話の遊離性といふ事實を考へると、問題がやゝ複雑になります。先に云つたやうに、童話は強烈な遊離性を有してゐ

ますから、従つて、或る國民の有する童話が、總てその國民に固有なものとは限つてゐないのであります。その中には、他國からの輸入が多量に含まれてゐるものであります。従つて、童話を材料として或る國民の國民性を云々する場合には、極めて慎重な態度を取らねば、甚だ滑稽なる推論に陥る事があります。嘗て某氏は、童話を通じて、ロシアの國民性を考案した場合に、童話に少年少女が自己の家を離れて冒險の途につく筋の多いのを指摘して、これ、ロシア人の特有する漂浪性の反映であると結論しました。しかし這般の童話は、決してロシアに固有のものでなうて、歐洲各國にひろく擴布してゐます。従つて、さうした童話は、必ずしもロシア人の心的產物とは云へないのであります。然りとせば、之を基礎として、ロシア國民の性情を云々するは、さぶる大膽な、且つ危険なものとせねばなりません。要するに、童話を通じて、國民性を見る場合には、考察の基礎とするところの或る童話が、他國よりの輸入にあらずして、該國の純眞な產物である、と云ふ事をつきとめた上でなければなりません。若くは、他國よりの傳來でも、ある國民が特にこれを愛好す

るとか、他國の童話のうちで、ある内容のものに限り、特に多く傳來してゐるといふ場合には、國民性が多少窺はれると思ひます。

○歸朝御挨拶

在外中は御無沙汰ばかりいたして居りました。此の度び歸朝、前の通り日本幼稚園協會のために微力をいたし度いと存じて居ります。本會のために、相變りませす御高情を願ひます。

尙ほ神戸及び東京驛著の際、わざわざお出迎ひをいただきました方に、まだ一々御挨拶を申上げる暇もなくして失禮して居ります。略儀ですが誌上を借りて厚くお禮を申し上げます。

五月

倉橋 惣三

玩具製作と家庭教育

藤 五代 策

從來我邦の家庭教育法は、餘りに消極的に偏してゐたやうな感じがいたします、例へば親達が子供を誡める言葉にも、やれ風を引かぬやうにせよ、色々な物を食べ過ぎぬやうにせよ、危い處に行かぬやうにせよなど、何れも消極的なお諭で、子供等には勿論必要な注意ではありますが、私の考へでは、此の消極的な訓誡と同時に、もつと積極的な教へ、例へば寒い時には火に當らずに運動をやれとか、道路に邪魔物があつたら取片付けておけとか、憐なものに遇つたら恤んでやれとか等、の自分の心から湧き出るやうな有益な事柄を授けてやらねばならぬこと、思ひます。

此の積極的な教育法も、様々あること、思ひますが、私は彼の子供等が最愛玩する玩具を、子供に作らせることなどは、積極的教育法の第一位に數ふべきものだと思います、子供が玩具を好愛するのは、殆んど本能的と謂つても宜敷位です、之と同時に子

供が刃物を持つて、物を切つたり、削つたり、組み立てたりすることも、子供の通有性で、恐らく之を厭ふものは一人もあるまいと信んじます、斯くして好きな玩具を、好きな遊び事として製作する内に、そこに教育上偉大の眞價が現はれるのです、私は昨年の春『活動する玩具の作り方』と云ふ本をかきました、(之れは厚い紙に綺麗に彩色をした玩具が四五十種類もかいてあります、之を缺で切りて、折つたり、貼り合はせたりすれば、直様玩具になるやうに工夫してあります)この本を某良家の子供へ贈りました、折節その子供は、腹痛とかで休んでゐたさうですが、此の本を見ると、忽ち起き上がりて、母に向つて缺や糊を所望して、其の中の面白かりさうなものを作り始めたのです、母は傍にありて、病氣のため宜敷くないから、と申して、制止したけれども、中々聽入れない、夢中になつて四つ五つを作り上げました、作つたものは一寸玩弄しては、直ぐ次のものを作る

と云ふ具合で、之を玩弄すると云ふよりは、製作する方に多大の興味を有つてゐたさうです、斯くする内病氣のことはすつかり打ち忘れて、何時の間にやら、癒へたと云ふことであります、之れは唯一例でありますが、此の外之に類した事柄は幾つも耳にしたのであります。

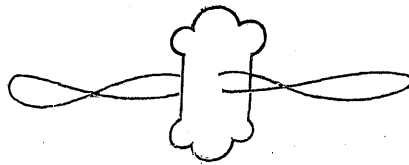
從來世間では子供が泣き出すと、直様お菓子をやつて機嫌を直すのが唯一の方法のやうでした、子供の方でも、泣きさへすればお菓子が貰へるものだと考へて、泣くのは子供の武器でありました、お菓子と云ふものは與へ方によりては、非常に弊害のあるものです、私は爾後お菓子に代へるに、玩具製作法に代へましたら、どんなに、子女教育上に裨益するであらうかと思つてゐるのです。

玩具製作と謂つても、多くの費用や、立派な技術が要るものではありません、工具としては、鋏と小刀と錐位で澤山であります、又材料としては、古端書、反物包紙、筆の軸、絲卷心、半紙、色鉛筆、糊などの廢物があれば、随分面白い玩具が澤山作れます、左に三四の例を示しませう。

一、絲卷心ぶんぐ

第一圖の如く絲卷心の眞中に二つの孔を穿ち、之に太絲を通して、輪に作り、左右の拇指にかけて、引いたり緩めたりして遊ぶのです。

第一圖

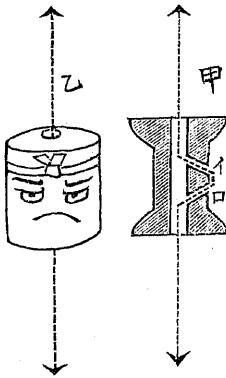


二、不思議な人形

第二圖甲は鼓形絲卷心の（イ）（ロ）に錐の孔を穿ち、之れに太絲を通し、上と下とを持ちて、少し緩むれば、人形は下に落ちます、適當の處で絲を強く引けば、そこで止ります、乙は甲の鼓形の周りに紙を貼り、人形の顔をかいたものです。

三、高の低いボール函の空殻をとりて、

第二圖

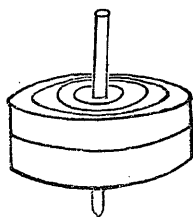


眞中に錐孔を通して、之れに長三寸位の丸箸を貫きて獨樂に作ります

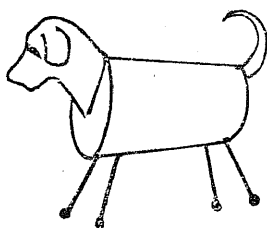
獨樂の上面には渦線を描けば一層面白いです。
四、コルクの犬

葡萄酒の栓をとり、其の前後にボール紙で作った犬の頭と尾とを取付け、四本の燐寸棒を脚に作ります

第三圖



第四圖



以上のやうな玩具ならば、費用も技術も要つたものではありません、而かも出来たものは、非常に面白くて、彼の買つた玩具よりも、教育上數等の價値を有するものです（玩具製作上の教育價値に就ては、他日稿を更めて詳論することにいたしませう）。

私は本年一月から、各種の少年少女雜誌社から懇望されて、理化的玩具の製作法を執筆して居りますが、全國の少年諸君からは、毎月澤山な質問や禮狀が参ります、左の一篇は少年俱樂部の愛讀者廣島市の尾谷誠治君からの禮狀です。

『僕は藤先生のお考へになつた活動寫眞を作つて見ました、此の活動寫眞は有益にして、且又愉快でありました、六月號には藤先生の考へられた、樂器の作り方をお書きになるそうですが、それを作り、又吹き遊んだならば、何んぞ楽しい事でせう、藤先生に厚くお禮申上げます』此の一篇でも多くの少年の意向が察せられるのです、從來多くの雜誌上には、小説や文藝的の事のみが滿載されて、理工科に關する事が少いのです、偶々理工方面の事が書いてあつても、之を製作し、研究せよう云ふ考へは無かつたのですが、近時凡ての子供達が文學的のものよりも、理工的のものを歡迎する傾向を帯びて來たのは、我邦家のため非常に喜ばしい現象であります、私は向後母姊の方々にお頼みいたしたいのは、子供に與へる玩具は成るべく買はないで、子供と一緒に製作するやうにお勧めいたしたいのです。

戸外保育の好季節！
綠蔭幼稚園のシーズン！

幼稚園の同窓會

南高輪幼稚園 甲 賀 ふ じ

かねてより幼稚園の同窓會を開き度いと願つて居りましたが、昨年米國から歸りました私の歡迎會を兼ねて第一回同窓會は開かれました。初代の卒業生達が多く集つて來て熱心に世話をして盛な會合を持ちました。此春はまた此度新たに當園の主任として鹽見先生を迎へましたので同氏の歡迎會を兼ねて去る二十三日午後一時から第二回同窓會を開きました。

會を開く一週間前十五日の土曜日には前回に選ばれた幹事達が數人當園で會合し諸般の打合せをなし會員一同に案内狀を出し其他の準備をいたしました。過去十年間に卒業した若い人達はもう、私から何もお世話やなくなつてもずん／＼自分達で事務を運んで行つて居るのを見て、私はもう其時から嬉し涙にくれました。

いよ／＼當日になりますと、午前八時といふに既に古い卒業生の數人は幼稚園の事務所でそれ／＼事務をとつて居ります、中には鎌倉から其時間迄に到着して何くれと世話をして呉れた人もありました。

中學生女學生小學生の三人兄弟で朝から學校行のお辨當持參で來て手傳つて呉てる人もありました。遊戲室には數列の長いテーブルが純白のテーブル掛で掩はれ美しい花で飾られて所狭きまでに並べられ、大小の椅子百五六十人の座席は整ひました。定刻になると某中學の二年生になつて居るS君は立つて開會の辭として簡單に今日の會合の主意を述べました。次に鹽見先生を紹介し同先生が十年前、當園創立當時に園の爲に盡して下された事を話すと、同氏はなつかしうに創立當時の思ひ出を語られました。

『十二年のその昔丁度森村夫人が御自分のお子さん達を小學校と幼稚園とへ御出しにならうとして近所に適當なものを求めになりましたが得られなかつた、それでは私のだいいじな花園を子供の園に致しませうとて御建てになつたのがそも／＼此園の起りなのです、今日はまるで大きな花小さい花の咲き揃つた満開の園の様だ、毎年毎年春毎に數々の美しい蕾が出來花が咲き今にどうぞ立派な果を結ぶ様

に、『といったやうな意味のお話で、其他園長や二三の先生方の御挨拶御感話があり、其後で第一回卒業生のW君は、懐しい幼稚園時代の追想を物語りました、彼は此春某中學校を卒業し美術に志して居る青年です彼の語つた一二の事を申してみませう。

(其頃丁度白瀬大尉の南極探險のあつた頃でしたので)

『今でもよく覚えて居ます僕等はよく南極探險に出かけたものです、僕等の南極は幼稚園とお隣の屋敷との境界になつて壁にそふて森の坂道をすんずん登つて行くことでした、日光の通らない森の中のことですから其處に入るといやにシーンと身にしみました、足元はジメ／＼して、ともすれば足を踏みはずしてすべりさうでした、出立前には各自吾一番に功名手柄を立てやうと大威張して麓までは先きを争てふ走つて行きながら、さて森にさしかゝると皆意氣地がなくなつて、誰も先頭に立つ者は無い、市川先生が先きに立つて下さると其あとを元氣を出して威勢よく森の坂道をわけ登り、行かれる處まで行つて歸るのです、歸つて來ると、一同はまた大威張り、南極で大蛇を見て來たとか、猛獸を見て來たとか自分達の想像範圍内でありたけの智慧をしぼつて大語

壯言して喜んだものです、吾々の南極探險は、忘れられない愉快な經驗でした。

畫洋紙でボートを送り蠟を塗つてお池へ浮して遊んだこと、お山へ行つてお辨當を喰べたこと、『今日のけいこもすみました』を歌つてお家へ歸るとごほうびにお菓子貰ふのが楽しみであつたこと、其時以來吾々を可愛がつて下さつた甲賀先生や市川先生や、今の鹽見先生其時同じクラスであつた誰れかれと、今日かうして此なつかしい遊戲室で楽しく相會すると又其昔があり／＼と見えるやうです』云々。私共までが其頃のことをはつきり見る様に昔が思ひ出されました。

其うちにお菓子が出たりお茶が出たり、お給仕役は小學校や女學校の會員たちでした。

餘興としては中學生W君兄弟のピアノ連弾。K君ハーマニカ、數番、小學校三年O君の一口ばなし小學校一年女生數人で動作つきの英語唱歌、中學一年のT君兄弟の佛語唱歌、M嬢のピアノ獨奏、L嬢のダンス其他小學生の邦語の唱歌、動作遊戲等、各思ひ／＼自分達の出来る事で此會合を愉快ならしむる様盡し合て居る様子は何とも云へず美しく見えました。此日集つた會員達は、小は此春四月に入學した小學一年

生より、大は、大學二年生迄の男女の學生を網羅して而も兄、姉、妹といった様な氣が漲つて居ました。

三時半頃一先づ會は閉ぢたけれども誰もなか／＼歸らうとはしない、大きな人達は後片付けの手傳をする、幼い人達は庭に出て遊ぶ、陳列した年々の寫眞を見てなつかしがる人もあり、自由畫綴り帳の中から自分の畫いた畫を見つけて喜んだり笑つたりして居る人もあつた。

大きな人達の仲間では斯様な會合を年に一度では足りない、秋にも一度開かうではないか、幼稚園の同窓會は吾々生涯の最樂しみな會合にしなければならぬと熱心に主張する人達もあつた、何と云ふ頼もしいこと、よろこばしい事だらうと、私共は本當に心から喜ばずには居られませんでした。

第一回卒業生の一人で其日都合があつて出席出来ずそれでも一寸だけ會の模様を見に来てすぐ歸つた一人の青年が後から次の様な手紙をよこしました、『如何に學校の都合、家事の都合上とはいへ、あの日出席し得なかつたのは如何にも残念で、また何とも申わけがございません、(中略)高輪の二年、幼稚舎の六年、普通部の四年それから豫科を考へて見ますとずいぶん永い年月と思ひますけれど、其間で、

藤田先生のピアノでマーチしたこと、お湯で煮た様な(お砂糖が少ないので)苺の溺死した(お汁が澤山で)のを二つ食べたこと、(幼稚園の畑で出来た苺です)、南極探險などは、一番明かな忘れられない印象であります、この様な樂しい印象を持つた二百人のbrothers (僭越かも知れませんが私はかう呼びたく思ひます)の一人而も *old brothers* の一人となつてしまつた自分を見ると幸福の中にも、責任ともいふ様な一種の覺悟を持たないわけには參らなくなりま

す。先日も同窓會で遊戲室に一ぱい集つて居たかの幼い人達を見て一層此感を強めました、(下略)。

私は常に自分が幼稚園教師であり、幼兒の友であることを心から感謝して居ります、また今更に其感を深く強く致しました。當に私ばかりでなく當園の教師は一同に深く自分たちの使命に感激しました、同じ園で保育されたといふ縁りで結ばれた此同窓會を持つ吾園は誠に幸福だと思ひます。

(幼稚園の同窓會については今まで種々批評があつたり疑問に附せられたりして居りますが、皆様はどう御考へになるでせう、私共の持ちました二度の會合は實に天真爛漫な美しいものでございました)

春が來ました可愛らしい小研究家を野山や海濱 に御連になつて大自然に親しませて下さい

平 島 權 藏

春が來ました野にも山にも又海にも此様な時には内に計り引込んで居ないで野山や海濱に出懸けるのは誠に愉快で身心共に伸び／＼する殊に幼児女を連れて行くとは非常に喜ぶ事は既に諸君の御經驗であらうと思はれます然るに其處に私の御注意を願ひたいと思ふ節々があるので順序に構はず思ひ出す儘を少しばかり御話しませう。

此間も或女の大學の教授が私の室に見へて種々御話のあつた序に専門學校程度に進んで來た生徒に觀察力の鈍い事に就て一二の適例を挙げられた後に是を防ぐのは高等女學校の動植物を教授する際に充分に採集等をさせて是を整頓せしめ知らず識らずの間に其觀察力を養成して置くのが必要な事と思ふと言はれました勿論私は其説には賛成でありますが猶進んで今少し前幼兒や小學の生徒の時に充分に其力を

養つて置く必要のある事を力説しました。

小供は自然界の一員であり自然界の仲間であります道傍や庭園の草花蟲何に就ても非常の興味を以て觀察し吾々の思ひがけない様な點に就て問を起します其時に心の儘に問はせて求むる儘に答へ又説明をてし遣りますと觀察は倍々深刻に問は倍々纖細に其止まる所を知らない位の有様であります然し此時に若し導くものが間に答へ得なかつたり又は説明が出來なかつたりすると其期待の大きいだけに失望も又甚しいのであつて後には其間の無益な事を思ひ從て觀察にも興味を持たなくなる様な事があらうと思はれます。

其れ故に保育の任に當らるゝ世の婦人達は少しでも眞に少しづつでも機會ある毎に是が準備の御心持を御忘れ下さらぬ様に希望致すのであります又一面

には動植物に就ての採集など申事は當に幼児の爲ばかりでもなく大人でも旅行の折の徒然を慰めたり其所々の紀念を残したりする點があつて面白いもの一つであります。

採集といふと専門家が研究の爲め特別に行ふもので其以外の人の爲る事で無い様に思はれるが其は其として其以外に誰でもが時ど所を選ばず折ある毎になし得らるゝもので其所に頗る面白味のあるものであります一二の例を申しますと、

或る時私が箱根廻りを一日試みました其折箱根神社から湖尻に出る湖邊でコムラサキといふ美しい蝶は誰が見ても美しい蝶々を見つけた此日は捕蟲網も持たず何も採集の器械は手に無かつたが殆ど私の顔の邊を飛んで行きますので突差に帽子を持って打ちますと程能く命中して地上に落ちたのを拾ひ上げて見ると全くの無傷でしたから型の通り胸部を長時間指に挟んで殺し其翅を背上に疊んで滑澤な半紙に包み手帳の間に挟んですらない様に手帳を糸で縛つて置きました此手帳の中には既に小さな珍らしい草花も數種は挟まれてあります此日の小さな手帳一冊は實に動植物の採集器具でありました。

右の様にして採集したコムラサキは後日皿に砂を盛り水で濕して其上に紙を一枚置き此蝶々を載せて蓋を被ふて一夜越すと柔かに翅も體も自由に曲げ得られます是を胸部に針を挿し展翅板に裝置して乾かすと立派な標本が出来て今も私の昆蟲保存箱の中に美しく光つて居ります時折是を見ますと當時の光景が山も湖も花も木も或は人も皆彷彿として眼の前に顯はれて來ます。

又手帳中の草花は新聞紙で水分を取りますと美しい永久的標本が得られます是は近年私が保育實習科の人達に生物學の梗概を敎授する際に試みた事で面白と思ますから少し詳しく御話致します。

腊葉を作るのには是迄種々の吸濕紙を用ひますが皆相當に高價のものでありますが私が試みたのは新聞紙を二枚位重ねて四つ折にすると半紙位の大きさで八枚重ねのものになる此様なものを澤山に作つて置て其間に半紙で包んだ草花を挟み新聞(八枚重ねの)紙と草花の包みと交互に重ねて板の間に挟み重き物(石でも本でも箱の中にも土を入れたものでも)を載せて次の日には此新聞紙を新しいのと取換へて濕つたのを乾かし翌日も同様に新聞紙を取換へて一週間位

の後からは二三日置きに一回位取換へ三四回取換へると大抵は乾きます。

右の様にするのが面倒ならば手帳の間に挟んで置いて時々其場所を換へて挟む様にしても乾燥します。要は水分を取りさへすればよいのであります。

乾いた草花は隨意の紙其れは畫用紙か模造紙の少し厚いものを普通の書物位の大きさに切つたものに細い紙で鍔つけに張るのであるが是は帳面や本の様に綴ぢたのに張り付けたのも宜しい又、

海岸に遊ぶと緑や赤や色々の美しい海藻が波に打ち上げられて落ちて居るのは誰にも見らるゝ所であります。是も前同様に腊葉にすると美しいものになります。然し此方は鹹ぬきをして置かぬと梅雨の時などに濕氣を帶びて黴が出來ます。鹹ぬきをするのは鉢か洗面器の様なものに淡水を盛り其中に暫く浸して後に其水を取り換へ畫用紙を適當の大きさに切つて手のひらに載せ水の中に挿し込んで靜かに前の海藻を抄ひ上げると美しく擴がります。其れを斜面の板の上に竝べて水をきり陸草を取扱ふ様に腊葉にするのであります。が海藻は粘氣があつて紙に附者するので大抵は水の中から抄ひ上げた畫用紙に附著します。是

は宜しいが壓して置く間に他にも附著する事が在るので其を防ぐ爲め上に布切れ（何でも白いものなら宜しい）を置く。と布には附著せぬ故全く乾燥した時には畫用紙の方に附著し布は美しく剝がれます。

斯の様に出来た腊葉には採集の時と所とを記して保存し折を得て其途の人に名稱を付けて貰ふのであります。猶海濱で拾ふ所の、

貝殻は以上の種類よりも今一層簡単に保存が出来ます。是は拾ひ取つた後に一度熱い湯で洗ふか一寸煮るかして能く水を洗つて乾かしただけで宜しい。煮るといふのは貝殻に種々小さな生物などが（生き貝は勿論）ついて居て其儘に置く。と後に腐敗して臭氣が立ちますので其れを取り去つて置くのであります。

貝殻には随分美しいものがあります。昔からは採集し珍藏する人が澤山あります。旅行の折々などに心がけて採集すると何時とはなしに澤山の種類が得られます。是も採集の時と所を必ず出来るだけ正確に記して置くのが宜しい。そして折を得て専門家に名前をつけて貰ふのが宜しい。

名を聞て又見なはずや草の花

で名前を知ると一層其の物がなつかしく特に其名が

優しい美しい名などであると捨て難い心が出来て参ります。名を知るといふのは生物學に入るの門で人の紹介で他人の名前を知る様なもので其れが高名の人であつたり種々の事柄が結びつけられたりして居ると其れこそ百年の知己になる様に生物に對する趣味も此邊から出發しますといつても宜しい。

生物の生活狀態即ち生態に就ては其れは／＼面白く、いものが澤山にあります。仕立屋鳥が木の葉を縫ひ合せて巢を作つたり鳥賊が墨汁を吹いて身を隠したり他の物に似せたり死に眞似したり種々雑多のものが廣い數多い生物の中には限りなく面白いものが見られますが然し此方面の事には生物の心を知らずして人間が自分の心に比較して所謂「當推量」をして飛んでも無い間違つた結果を小供などに話す事があり、まず其一例に或る新聞に有名な漫畫畫きが畫いてあつた大間違を御話しませう。其漫畫は

一寸先の判らぬ人間共

といふ標題で畫が三つ。其一は母蛙は雨を豫知してゲ／＼／＼と遊びに出て居る子蛙を呼ぶ。圖二は子蛙は家へビヨン／＼飛んで歸る。圖第三は母蛙のお小言なせモット早く歸らないの雨に降られて歸つては

一寸先の判らない人間共と同じになつて仕舞ふじやないか、

といふのであります。是は當推量大間違の好標本であります。何故と申すと蛙の肺は誠に不完全のもので呼吸は主に皮膚で營みます。呼吸作用即ち瓦斯の交換は常に濕潤なる動物膜を通してのみ行はるゝもので蛙は其爲に常に皮膚の潤ふて居る必要があり、其れが愉快に感ぜらるゝので雨降りや曇つた天氣を喜び、日の照る晝間は隠れて居るか水の中に居ます。其れが雨を催して空氣に濕氣を帶びて來ると愉快でたまらず遊びに出懸けます。丁度吾々が春秋の暑からず寒くも無い晴れた日に喜んで散歩に出懸けるのと同じであります。其れを知らずに人間共が間違つて前の様な當推量をする。と其れこそ蛙に笑はれます。いろはかるたに在る蛙の面^{ツラ}に水なども此漫畫家の様な心持で言つたのであります。

一體日本の人は男子といはず、婦人といはず、智識慾特に科學的の智識慾が少いといふ事は著しい事實であらうと思ひます。是は建國の古き割に此方面の智識の後れて居るのが原因で止を得ない事ではあります。が何時までも其様にも言つて居られませんから、此方

面の知識の少しも早く進歩する様に兵戦が縮少さるれば次に來るものは必ず知識戦でありませう特に科學的經濟戰でありませう然し前の漫畫の様なものが日本一の堂々たる大新聞紙上を飾る様では前途實に遠慮でありますが根本的に此國民氣分を作り上げるのはどうしても幼児を育てる人達の心懸に待つ外は無いと確く信じて疑はないのであります

幼児のナゼ／＼この追究的質問にどうか間違ひなく答へて下さる様に幼児の喜ぶ自然界に近づけて日曜祭日などには成るべく郊外などに連れ出して此小さな研究家にナゼを連發させて能く答へて下さり指導して下さると其所に科學普及の基礎は築かるゝのであります

然し此指導は至難の業とも思はるゝ方が多からうと察せられますが其には先づ一二の参考書位は御持ち下さつて他は常々の心懸自然現象に就ての心懸を充分に持つて居て下されば善いのであります唯今の婦人達には此知識が後れて居ますから先づ奮發して一つ其準備をして下さる様に然うすると次から次と次第に傳はつてさほどの苦勞も無く幼児を導いて下さるに充分の準備ある婦人達が出來て參らうと思ひ

ます

今少し具體的にも種々の事を御話したのであります。が此頃は少し忙しいので又の機會に譲ります。猶此事に就て御疑問がありますか又御考へつきの點がありましたら此紙上で御發表下さる様に願ひたいのであります(四月一日)



本會幹事野間とよ子氏及び同黒瀬つや子氏は先般御都合により、本會幹事を辭されましたが、野間氏が會計主任として、黒瀬氏が編輯主任として本會のために永く御盡力下さつたことに對し、本會は特に感謝いたして居ります。

日本幼稚園協會

幼児の遊戲に就いて

本郷第一幼稚園 小向喜美子(談)

(近頃新聞で拜見した子供ダンスの事に就いて、小向先生にお尋ねしましたところ、先生は些細な事を新聞で大げさに廣げられたのには、自分ながら臆を潰した次第で、今更どうとも致し方なく恐縮致して居る始末ですから、之に關する事は、今暫く發表を御免蒙りたいと存じます。何れ充分な研究が出来たらば、お尋ねなくとも、此方から御誌を拜借して、先望諸先生の御高教にあづかりたいと思ひます。——とおつじやつて、再三お話しする事を拒絶されましたが、強いて私が問ひ詰めますと、次のやうな意を述べられました。それ故、次の文章は文責は私自身にあるのでございますから、皆様そのお積りでお讀下さい。一會員)

遊戲も種々の理屈のあるものと云ふ事は、倉橋先生のグロースの遊戲論の御講演を伺つた時に知りました。私共が毎日幼児を取扱つて居ります時に、最も必要で而も興味を以て研究して見たいと思ひますものは、幼児の遊戲でございします。

そして幼児の遊戲は如何なるものが適當(幼児の氣分に合致するもの)であるかと云ふ事を考へる時、何時も心に浮ぶことは、此の遊戲論の時に承つた、

「遊戲は活力の餘りに溢れ出たものである」、と云ふことゝ、今一つは、「模倣に起因するものである」、と云ふことの二つでございします。

飯事とか電車ごっことか云ふものは、無論模倣から來たもので、幼児の精神狀態の極く平らかな時には、此の種の遊戲を致しますが、非常に喜ばしいとか楽しいとか云ふ様な神經の興奮した時には、決して之だけでは満足が出来ないで、如何にも内部の活力が迸り出たと云ふ有様に(包み切れないで)、無意味な手足の運動、即ち手拍子、跳躍、足拍子と云ふ様なことをして、尙ほ足りなければ、聲を出して、以て内部の活動を發表致します。大人が手の舞ひ足の蹈む所を知らずと云ふ形容詞を使ひますが、非常な場合には大人でも之でございします。況んや、子供ならば無理もない事で、嬉しくてもじつと我慢して居る様な様な子供は、先づ不自然な教育を受けた子供が病的の子供と云つて差支ないと思ひます。

而して、此の模倣と活力の溢れ出た運動と、何れが先に發見さるゝかと考へますと、後の方が最初に表れるかと思ひます。彼の口もよく動かない赤子が、喜ぶ時には、足をどたばたやるのは、之ではありますまいか。

今日幼稚園で幼兒に致させる遊戲の方法が、果して此の自然を利用して居りませうか。私の幼稚園では、保姆が何々を致しませうと題を出し、幼兒は之を受諾し保姆が樂器を奏し、幼兒が之に和して動き出すと云ふ順序で、時に幼兒の好むものを申出さしめ、之を一同で致すこともありますが、高々此の邊が止りでございます。

氣分のよい生々した幼兒ばかり集つて居る幼稚園のこと故、今少し何とか工夫して子供自身から働き出す様な遊戲の種類、或は指導の方法はあるまいか、と云ふ事を考へ出しましたが、まるで雲を掴む様な次第で何か何かと云ふだけで、日を過して居りました所が、丁度文部省で二階堂先生の「幼兒の遊戲」を云ふ題目の講習が開かれました。それはダンスの基本練習で其の中には、非常に氣分のよい運動がたくさんございました。

そこで自分が考へたのは、どうかこのダンスを充分練習して自分のものに消化して後、之を幼兒の消化し得る様なものに調理して見たい、と云ふことでございます。

第二に考へたことは、變人とか陰鬱とか云ふ氣分の子供でも、どうかこの面白いダンスを利用して、多數の子供の中に釣込んで躍らせたならば、所謂輪廓から先づ快瀾に作つて行つたなら或は永い間には知らず識らず內的方面迄之に化せられて、終に浮々してさばけた子供になりはすまいか。

第三には、人の食物にも軟かいものも必要なれば、時には固いものも必要、甘いものもよければ、鹽辛いものも入用と云ふ様に、運動も表情遊戲の如き緩やかな運動の必要であると同時に、又舶來式のダンスの如きてきばきした運動も亦必要でありませう左の條件のものに、

- 1、方法の複雑ならざるもの、
- 2、子供の好みに適するもの、
- 3、之に要する曲は何々ならざるべからずと云ふ様な窮屈なものでなく、舞蹈の曲ならば何でもよいもの、

こんな事を考へながら、講習を受け終りました。

さて、幼稚園に出て幼児の顔を見ると、早く此の空想を實現して見たいと思ひました。然し、如何に簡單なダンスでも多少の順序方法もある事故、之を子供に苦しみなしに渡すには、先づ保姆が教ふる方法の工夫に大に苦心を要することゝ、今一つは保姆が充分其技に熟達して出來得る限り、完全な手本を見せる事と云ふ事を考へました。

此の二つの條件を準備する爲に、多少の日子を費しました。そして、愈々取りかゝる決心を致しました。取り掛つて見ると意外な事ばかりで、尤もダンス其物の選擇が的に中つたのかも知れませんが、案じるよりは産むが易いと申しませうか、樂々と受け取つて、而も日に／＼巧者に踊る様になりました。そして、定められた時間外室内でも通行中でも、樂器の音さへ聞けば、此ダンスのスタイルを取て居りますのは、餘程好みに適したのであると云ふ事が分りました。

それから、私の嬉しく感じた事は、入園以來滿一年になつても、未だ曾て笑つた事のない或る變人の子供が、何時かこの中に釣込まれて、趣味を感じたものと見え、自宅に於て盛んに踊り、母と買物に行けば、往來を此のスタイルをして、後からついて行くので、母親がきまりが悪くて困ると申されました。

此の話を聞いてから、試みに、「○子さん踊りませうか」と手を出すと、横を向くべき筈の變人が手を出して、顔の筋肉が餘程弛みを表しまして、きまり悪さうに動きます。然し、満足する丈の結果は未だ得られません。何とか此の呼吸で成功して見たいと思ひます。以上は半年足らずの私の經驗でございますが、是より猶ほ研究を續けたいと思つて居ります。其の間には種々の問題にぶつかりまして、失望することも多く出ることゝ思ひます。

私は此の子供ダンスを利用して、幼児の體育上或る理想の港に著いて見たいと思ひますと同時に、一方精神上にも何等かの効果あらしめたい、と思つて居ります。

ダンスの方法は、二階堂先生の直傳の「お招き」と云ふのが、一番喜ばれて居ります。之は決して私の新案ではございませんから、御披露致す事は差控ます。

一言序にお断りして置きたい事は、或は雑誌に「新案子供ダンス踊方小向喜美」と書出してあるのを見て、驚きました。私は決して左様な事を出した覚えはありません。唯寄せ來る記者に止むを得ず質問するに、答へた迄の事でございます。前述の次第故、私は方法を申上ることは、御遠慮致したうございます。

兒童就學前後の衛生

醫學士 豐田作太郎

兩親の膝下に慈愛の手で育てられてをつた小兒が學校へ入る様になりますと急に今迄とは變り多くの未知の人々の間に入り異た生活をせねばなりません今まで不規則な生活も急に規則的になり我儘になり勝な家庭より比較的嚴格な學校に通ふ様になります事は兒童の心身の上に少なからぬ刺激を與ふるのでありまして其影響も決して少なくはありません。

心身共に健全な兒童ならばかゝる境遇の變化にもさ程の打撃は受けませんが生來薄弱な小兒では多少の障礙を起す事はまぬかれません。それ故に親たる方々は小兒が就學年齡に達する前より豫め其用意をしてをかねばならぬ事と存します。學校へ入れてから始めて身體の鍛練を始めるのではなくて兩親たる者は健康な抵抗力のある兒童を學校へ送らねばならぬのであります。そして境遇の變化に伴ふ種々の打撃に打ち勝つ様にせねばなりません。

哺乳時代を過ぎ二三歳に達しますと身體の發育に

從て今までの赤んぼとだん／＼異つてまいります普通の發育を遂げてをるならば皮下脂肪の發育もよく筋肉の緊張も程よくありますが頭部は未だ割合に大きく全身長の五分の一以上を占めます、腹部は稍々膨隆し背柱の彎曲も大人のとは異り未だ充分の發達をせず腰部に後彎があるのみです筋肉は水分多く鍛鍊されてをりませんから疲勞し易く從て姿勢もきちんとせず歩行も不安定で轉る様な歩きつきをします肩胛關節の發育も充分でなく大胸筋の牽引の爲めに前方に下り猶此時代には胸骨や肋骨の位置が下つてくる爲めに肩胛骨の内縁がもち上る様な位置になります。

猶年齢がすゝみ四五歳になりますと運動が盛んになり食物も追々分量が増し種類も豊富になる爲めに身體の釣合ひも異り手足が長くなり丈夫になり歩行も安定になり長時間續く様になります、背柱の彎曲も生理的の彎曲が明瞭になり腹部の突出も減じてま

います。心臓や肺臓も健全な場合には比較的勞作に耐え此の時代には一般に重い熱性病にもよく打ち勝ち得るのであります、呼吸も胸廓の變形に従て漸次腹式から胸腹式になり胸廓の運動が充分になる爲めに呼吸の數は減じてきます、注意すべきは骨格であります骨の成長は著しくて多くの新しい骨がどんどん形成されますが未だ固まらぬ爲め外力には抵抗が強くありません、不適當な食餌、過勞、衣服の壓迫、悪い姿勢、悪い習慣により容易に將來匡正の困難な變形を來すことがあります、ですから一時的の外力でなく假令弱い力でも長く働く事は注意せねばなりません、反て一時的の外力には彈力に富む爲め割合に害が少いので墜落したり、轉倒したりしても大人のものゝ骨よりは害を受ける事は少ないのであります。

幼兒の身體には以上の様な特徴がありますから是等の點を充分顧慮して身體の鍛練をせねばなりません、

姿勢に注意すること、後來の基礎となるものですから充分注意して悪い姿勢を矯正することが必要ですが猶重要なことは筋肉の鍛練です筋肉が薄弱では如

何に嚴しく申しても立派な姿勢を保つことは不可能です、筋肉の鍛練は弱い兒童でも適當な注意の下にやれば害はありません、即ち心臓の状態とか疲勞の程度に氣をつけて過激にならぬ運動は差支ありません、運動もなるべく規則的に窮屈なものよりは兒童の興味を伴ふ様な形式でやる方が宜ろいのです兒童の肉體も精神も大人のとは異りぢきに疲勞するものですから餘り長時間やらぬようにせねばなりません、

過激な運動の害、幼兒は未だ骨が充分固まらぬものですから過激な運動は害があります、例ば高く跳躍する事や飛び下る運動は不適當であります、又同一の場處に長く佇立する事も避けねばなりません、其身體の一局部殊に肩に重い力の加はる運動もいけませんこれは前に申した通り未だ肩の筋肉が發達してをらぬ爲めであります、其他筋肉には屈筋と伸筋とありますが此の内一方屈筋のみを使用する如き運動も不適當であります又呼吸運動其他の運動にも股を廣く擴げるのも一寸した事ですが考へねばなりません、これは動もすると下肢の骨が曲てX脚を起し易いのであります、

猶凡ての運動は戸外に於てなす事が必要であります多人數が狭い室内などで運動するのは雨の日などは止むを得ませぬがあまり感心しません、場合によつては反て有害の事もあります、

跪坐—日本流に坐る事は發育の盛な活潑な小兒の本性に反するものであります、自然にもつてをる小兒の活動慾をさへ下肢に壓迫を加へ血行を悪くします日本人の下肢が多くの場合多少彎曲してをるのは幼時跪坐の習慣があるからださへ申されてをります、從て編み物や圖畫とかを坐て長くつゞける事は避けねばなりません、今までの習慣によると大人の様になつて坐て居る小兒はお行儀がよいとせられてをりました、がお行儀のよいのは兒童の自然ではありません、否かゝる不活潑な小兒は多少どこか不健全な處がある爲めであります、健康な三四歳位の小兒は決してヂツこととして居るものではありません、此點はよく皆様方の御了解を要する點で無理な不自然な要求を小兒になさるゝ事をお願い致します、

衣服 衣服の材料の通風、保温、水分吸收の度とか其他一般の衛生學上の要素の外兒童の衣服に就ては

猶重くないこと又其の重量が肩にのみかゝらぬ様にすることが必要です、前にも申した通り肩に重量が加はると肩胛骨をさしつけ大胸筋の攣縮を起し延びては胸部の運動、全身の運動を障げます、又あまり身體をしめるのはよくありません、日本服を著た時女兒に用ふる幅廣の帶などは此の適例であります、此の爲めに胸部腹部の運動が悪くなるばかりでなく内臓の變形までも起します、從來の日本服は多くの缺點をもつてをりますが就中發育の盛な小兒には種種不都合な點があります、近來生活改善の聲大くなるにつれて服裝問題も喧しく論ぜられ殊に兒童の服裝は大分改良されました事は欣喜に堪えません、都市に於ては兒童の洋服が近來著く増加した事が一般に洋服の利便が判た爲めだらうと思ひます、

又衣服は幾枚著せたらよいかは吾々の屢々遭遇する問題であります、これは季節により勿論異なりますが簡単に夏は何枚冬は何枚といふ譯にはゆきません其土地の寒暖、乾濕により又兒童の強弱、家屋の構造衣服の材料今までの習慣により異なるのは云ふまでもありません、又猶細く注意すれば朝夕と日中とは多少加減せねばならず運動する時とせぬ時とで又

増減せねばなりません、が衣服の厚さが適當か否かを鑑別するには兒童の顔色を見ること發汗の如何本人の感覺により大體は判明すると思ひます、厚著にすぎるとは避けねばなりません、厚著は運動を妨げ發育を害し皮膚の抵抗を弱めます、

皮膚の鍛練、――強壯法、或人は厚著をして感冒にかゝり或人は薄著でも平氣です、これは吾々の身體に抵抗する力がある爲めで或人は抵抗力が弱く或人は強いのであります、健康な生活をするには是非とも此の抵抗力を増進せねばなりません、四五歳位の年齢に達したならば積極的に鍛練を始めて差支ないのみか反て奨勵すべきであります、先第一は空氣鍛練法とでも申しませうか吾々の皮膚をなるべく外氣にさらして抵抗力を養ふのであります、これにはなるべく薄著をすること、足袋、靴下の類を常に用ひぬこと、溫暖な季節には裸體で居ることが必要であります次は冷水摩擦、乾布摩擦であります前者は皆様よく御承知の通りであります、後者は「タオル」手拭などの乾いた布で全身を少し赤くなる程度まで摩擦するのであります、此は弱い小兒や、冷水摩擦をやる前豫備に行ふのであります第三には冷水浴であ

ります此は四季行ふのは一寸困難でもあり幼兒には適當しませんが夏季には實行し易い方法であります、小兒では浴室などで頭から水をあびるのは適當しません、それよりは河か海で自然浴をする方が適當です此際小兒は大人よりも身體の表面が比較的に大なる爲め早く冷却します上に水邊で遊び戯れてをる時は面白い爲めにつひ／＼冷え過ぎ易いものですから其注意が肝要です他覺的には唇の色が暗紫色になつたならば必ず直に中止せねばなりません、次には水泳であります、健康な小兒ならば四五歳から差支ありません／＼肥た兒童でしたら皮下脂肪の爲め急激な冷却を防ぐ事が出來ます、此に反し顔色蒼白、疲勞し易く瘦せた小兒は冷水浴に適しません、

榮養問題 次に大切な榮養問題に就き少しく御注意申上げ度いと思ひます、新聞雜誌に榮養問題が論議されるのは歐洲大戰以來著くなつたので皆様も既に御承知の事と存じ重要な點のみを申します、

第一は兒童の榮養に關して神經過敏になる方と全く無頓著な方とありますが何れも宜ろしくありません、神經過敏な方になると三四歳になり齒も相當に生へてをるに拘はらず牛乳、玉子、粥位しか與へな

い方があります、吾々の身體は使用しないと弱くなるものであります、消化器にしてもあまり庇護しては反て弱くなります或る程度までは慣らす即ち鍛練の必要があります、咀嚼の要なき食物ばかり攝取してをれば齒も咀嚼筋も退化して弱くなります胃や腸の消化腺も適當な刺激がなければ分泌が悪くなり運動が不充分になります然し又一方に於て何でもかまわぬと申すのではありません相當の注意は勿論必要であります、第二には蛋白質過重の弊であります、御承知の通り吾々の食物は學術的に申せば蛋白質、含水炭素、脂肪、鹽類、水、などの養素から成り立てをります吾々の身體が日常の生活で失はれて行く部分(表皮、毛髮、消化液等)を補ふには是非とも蛋白質が必要で他の養素で代用する事は出来ません、殊に小兒ですと此上に更に新しく自己の身體を造つてゆく即ち成長といふ役目がありますから一度の蛋白質は必ずなければなりません、が此の點を曲解して蛋白質ばかりが榮養あるものゝ如く思ふのは誤りです、他の含水炭素脂肪も重要な養素で吾々の身體の活動には大に役に立つものであります、蛋白過重の結果卵とか肉類のみが滋養あるものとし是

等の過食をする事は反て害がありますチエルニー教授の説によれば蛋白質の過食の結果は皮膚發疹、濕疹、便秘などの病的現象を惹き起すと申してをります、

シユロスアン教授の申す處では前に申した無くてならぬ蛋白質の分量は體量一斤に就き日に二瓦だと言ふ事です、體重十五斤(四貫)の小兒ならば一日に要する蛋白質は三十瓦(八匁)で動物性或は植物性の蛋白質を此だけ與へ其他は含水炭素と少量の脂肪を與へればよろしいのです、

其他嗜好品として茶は少量は勿論差支ありませんが酒精の入た飲料は悪い事は申すまでもありません、猶就學の初めに往々顔色が少し蒼白色になり食欲減退し體重が減少する事があります、程度が輕ければ其儘放置しても學校に慣れるに従て元氣を恢復しますが程度が重く其上に頭痛不眠などの神經症狀を呈する様ならば醫療を必要とします、

歐洲兒童の健康狀態に就いて

戰爭が其の國の次の時代に如何に深い影響を及ぼすものであるか、又、其の國の子供等が幸福か否かは一國の未來を如何に左右するものであるか、といふことが、現代ほど痛切に感じられる時はないのであります。歐洲大戰の當初、數多の緊急な事件が衆目を惹いてゐた時に於てさへ、諸國は、次の時代の國民を保護するための諸機關に對して、時と、勢力と、資本とを惜しまなかつたといふ事に依つても、子供等は如何に大切なものであるか、が證明されて居ります。大戰も終局に近づき、諸國が次第に疲勞を覺えて來た時に、この兒童問題は、人々の豫想以外に切迫して來ました。諸國は、子供等が餓え瘦せ衰へて、發育不完全になつてゐるのを見て、戰爭の悲惨を一層深く増し、全く憂慮に閉ざされてしまひました。平和克復と共に、歐洲諸國の或るものは、速かに恢復して、未來の市民の幸福を計る諸機關を發達させる事に、多大な興味を有して、其の方面へ

米國赤十字醫員　イー・エム・ジヨセフソン

向つて行きました。一方、他の國に於ては、平和克復になつて、却て、子供等の健康が害されて行く事を、見出したところもありました。

今、ヨーロッパ諸國に於ては兒童の健康上に、大戰の不幸な影響が、繪のやうに鮮明に表れて居ります。この論文に於て私は、ヨーロッパの重なる國々の兒童の健康上に及ぼした大戰の影響を概説致します。且つ又、兒童の生命を保護するため、健康な兒童をつくるために、用ひられてゐる兒童保護の諸設備を簡單に概説致して見たいと思ひます。

フランスに於ける兒童の狀態

フランスが大戰に依りて新たに占領した土地に於きましては、子供等、殊に六歳以上の子供等は、榮養不良で甚だしく苦しんで居ります。一九二〇年五月に、シル地方の兒童を調査して見ますと、十二歳の兒童は八七%、十三歳の兒童は九一%、十四歳の兒童は九三%、平均體重以下の者でありました。十

二歳の兒童は八四%、十三歳及び十四歳の兒童は八六%、平均身長以下の者でありました。一方に於きましては、七歳及び九歳の間の兒童は、前者の兒童よりも、より善い状態にあるのであります。此等健康上の障害は、兒童の精神發達にも影響して居りまして、メンタルテストを試みました結果十歳から十三歳に至る迄の兒童は平均よりも凡そ一年半の精神發達が遅れて居ることがわかりました。

佛國の新占領地がおだやかになりますや否や、此の状態を償ふために、新しい諸方面の活動が行はれました。此等の活動から得た最も著しい結果は、夏期學校の事業に於て、明らかに表れて居ります。即ち、一九二〇年の調査に依りますと、夏期學校で夏を過した數千の子供等のうち、七五%は、體重を増し、身長 of の如きは二糶も増して來て、其上著るしい精神發達さへ表れました。又、八〇%は、次の一年年間學校を缺席しなければならぬやうな疾病に罹らなかつたと云ひます。それから、兒童保護委員の監督の許に乳兒相談所を設立しまして、誕生後の保育に注意した結果、乳兒死亡率が昨年中に著るしく減少して參りました。

歐洲大戰中、一九一年には、恐るべき牛乳缺乏が起りました。パリに於きましては、人口が増加して來たにも拘はらず、供給される牛乳の量は、五〇%も減じられました。この牛乳缺乏を防ぐために種々の手段が施されましたが、その中には、小牛を肥すために牛乳を與へることや、クリーム・チーズを製造することや、製粉所で病人に牛乳を與へること等を禁止する命令さへあつた程です。

次のやうな材料は、興味あることと思ひますから、左に述べて見ませう。フランスに於ける死亡率は、こゝ數年間は比較的に低くありました。一九一一年及び一九一三年には、相當に人口が増加してゐましたが、それが、一九一四年から、大戰中にかけて、生産缺乏の結果、逆行してしまひました。一九一一年及び一九一五年には、一〇〇〇につき三・六の生産缺乏がありました。一九二〇年には一〇〇〇につき三・六の生産増加がありまして、これは、一八六五年以來の最高の報告であります。

乳兒死亡率は、フランスに於ては、過去十年間、可成りに高くありました。一九一二年には、生産一〇〇〇につき一〇四で、これが最低でありまして、

一九一五年大戦中には、一〇〇〇につき一四一にのぼり、これが最高でありました。死産数や私生児生産数も、生産率と平行して居ります。

オーストリアに於ける児童の状態

オーストリアほど、大戦の影響をうけて、經濟制度の破産を蒙つたところはありません。非常に貧しい者も、相當に暮してゐた者も、同様に影響を受けました。この状態は、すべての階級の児童に、年齢の多少を問はず、あらはれて居ります。児童の生長發達の上に發育不完全があらはれて居るのに加へて、母親達の著るしい榮養不良が新しく生れて來る乳兒の上に、影響を及ぼしてゐるのであります。ウキス博士が一九一六年から一九一九年に至る迄に生れた乳兒を調査した結果に依りますと、第一に、誕生したばかりの乳兒中、一五%から二〇%までは、平均體重より少くありました。第二に、一歳から四歳までの子供等の中、三三%は、平均體重より少いのであります。又、貧民階級及び中産階級の子供等のうち、九〇%は佝僂病や貧血病の著るしい徴候が多少とも表れて居りました。

佝僂病や貧血病の流行は、一部分は、脂肪分や

牛乳等の極端な不足に基いて居ります。ヴィエナに於ける牛乳供給は、目下、非常に不充分なのであります。オーストリア現在の人口の凡そ三分の一を占めてゐるヴィエナの人口一八〇〇〇〇〇に對して、牛乳は六〇〇〇〇〇立ほどに過ぎず、しかも、その牛乳の大部分は、混合物がしてあるのです。夏期になりますと、牛乳は市場に出るまでに既に酸つばくなり、乳兒の食物には適しなくなつてしまひます。前述の牛乳の量は、實際、ヴィエナ市で需用される眞の量の五分の一にも足りぬのであります。如何なる理由でかう云ふ缺乏を來たしたかと云ひますと、政府が牛乳の賣價を安く定めた結果、農夫は、市場で牛乳を賣つても利がないために、家畜に其を與へてしまふやうになりましたし、其れに加ふるに、飼草の不足は、家畜の生産に妨害を招きました、米國赤十字は、この問題に興味を持つて、ヴィエナ市と共力して、新鮮な牛乳の供給をはかり、この慘狀を救済することをつとめて居ります。

ヴィエナに於て一九二〇年に、中央兒童保護員が六歳以下の子供の調査を行つた結果に依りますと、一〇〇〇〇〇の兒童總數中、調査を試みた八三五〇

○の中四〇%は榮養不良であり、一〇%はしかもその榮養不良が極端に甚だしく、たゞ一〇%のみが相當に發育して居つた事を表して居ります。

牛乳缺乏半面には、こんな面白い事實もあります。

一九二〇年には、ヴィエナに於ては、胃腸病から起る乳兒死亡率が著しく減少しましたのは、牛乳が缺乏してゐた爲に、母親達が自身で乳兒を育てるやうに餘儀なくさせられたからでありました。

一九二〇年三月上旬に、ザルツベルグ市に於いて、三歳から十四歳迄の年齢の子供の調査に依りますと、四一六九の子供等の中、三四五五は榮養不良でありました。調査は、フォン・パークエット・メソツドに従つて、子供等を分類し、調査した土地は、オーストリアの大都市や工業中心地に於て行ひました。一方に於ては、レントのやうな小都市は、子供の健康状態が可成りに良好である事が表れました。

ヴィエナに於ける生命統計表は、この兒童に關係して、實に興味あるものでありますから、左に一言致して見ませう。

生産率——一九一四年から一九一八年に至るまで、ヴィエナの生産が三六四四二から一九二五七、即ち五

二・八%減じられました。公生兒の生産(四三%)の減少は、私生兒の生産(五八%)と大して差がありません。又同年間に、死産の数は、三七七一から二五一七、即ち三三%に減じられました。一九一九年平和克復と共に、生産率は再び増加し始めました。

乳兒死亡率——一九一四年には、乳兒死亡率が、五〇七四でありましたが、一九一八年には二九四一に減少して居ります。之を、乳兒死亡率の平均と比較して見ますと、大戰前の平均より少し高くなつてゐるだけでありまして、一二・二七%から一五・二八%の間を往來してゐるのみであります。死亡率の減少は、生産率の減少に歸するのでありまして、公生兒の死亡率率は、大戰前よりも一般に低く、一二・二七と一二・〇八との間を往復して居ります。大分、牛乳缺乏の結果、母親自身が乳兒を養育する事が、前述のやうな状態を表すやうになつたのであります。この乳兒死亡率の減少は、私生兒の死亡率が一九一四年には一六・〇二%から一九一九年の二三・〇七%に増加した事と、面白い對照になつて居ります。

兒童死亡率——一九一四年から一九一九年に至るまで、一歳から五歳迄の兒童の死亡率は二〇一八であ

りますから、戦前一九一二年前から一九一四年までの一九八四に比較すれば、少しく増加して居ります。生産率の減少したことも考へに入れると、この數字は三〇%の増加を表して居ります。五歳から十五歳迄の子供の死亡率は、大戦中には一般に高く、一九一五年から一九一九年までは、一四二・六となり、凡そ三四%の増加がありました。

一般死亡率——前述の年間に於きましては、一般死亡率も肺結核からの死亡と同様に増加して居ります。自然増加——一九一五年から一九一九年に至る迄の間に大戦前に相當に増加してゐた人口が、生産缺乏によつて、一〇〇〇〇〇即ち凡そ五%減少して居ります。然しながら、一九一九年來、年々にこの状態が恢復し、人口も自然に増加して來て居ります。

チエック・スロバキアに於る兒童の状態

チエック・スロバキアは主として工業國でありますから其の國の農業は人口に適する程に充分な食物を供給してくれません。近年、工業不振、物價騰貴等に依つて、生活は非常に困難を來たして居ります。肺結核から起る死亡率は高く、子供等の大部分は、其の病氣に悩まされて居ります。又、眼疾がい

ちじるしいので、近頃、眼病と榮養不良との關係に就いての研究も、頻りに始められて居ります。

次に述べる生命統計表に表はれた實例は、興味あることと思ひます。モラヴィアに於ける生産率は、

一八八一年には一〇〇〇につき三六・八の平均から、一九一八年には一〇〇〇につき一二の平均に迄、減少して來ました。一九一九年には、生産率は再び一九・八までに増加しました。一九一一年から一九一九年に至るまで、乳兒死亡率は、生産一〇〇〇につき、ボヘミアに於ては一八〇、モラヴィアに於ては一八六、西シレシアに於ては一九二となつて居ります。

チエック・スロバキアの平均は、一〇〇〇の生産につき一八六の死亡率がありまして、即ち一年に五〇〇〇〇〇以上の乳兒死亡があるわけであります。同年間に、モラヴィアとボヘミアは一〇〇〇〇〇につき三二・八の肺結核死亡を見ました、之は他の九文明國よりも率が高に高いのであります。之にともなふて、一般死亡率も比較的に高くあります。前述の諸地方の人口は、相當に増加してゐて、即ち、一八八一年から一九一五年の間には、一〇〇〇につき八・九%一九一五年から一九一八年までには、一〇〇

○につき一・三%の生産率にのぼつて居ります。一九一九年には、ボヘミアに於て、一〇〇〇〇につき一の増加を見、一〇〇〇につき四・七%の増加がありました。

ポーランドに於ける兒童の狀態。

大戰の後半に於いてのポーランドの兒童の悲惨な狀態は、全ヨーロッパ中で見出された最も不幸な戰禍の模範とも云ふべきものであります。ポーランドは大戰の初に於ては進軍の蹄にかゝり、大戰の終には退軍の蹄にかゝつて、二度も蹂躪されてゐるのであります。一九一七年から一九一八年に於ける間、六歳迄の兒童の健康狀態に就いての調査がサデース・コッペ博士に依つてなされて居ます。次に其の調査の概略を述べて見ませう。第一、榮養良好の兒童は、滿一歳の兒童に於ては六〇%ありましたが四〇%に減じました。虛弱兒童は、一五%から三〇%に増加しました。第二、滿一歳の兒童に於ては、平均體重以下の者が、二三%ありましたが、滿五歳の兒童に於ては三五%に増加して居ります。最少體重の兒童は、五〇%から六〇%に増加して居ります。第三、饑餓から起つた水腫が、滿一年の兒童には、一

%、滿二年の兒童には一三%、滿三年の兒童には一〇%、滿四年の兒童には八%、滿五年の兒童には七%と云ふ割合で表れて居ります。第四、榮養不良から起つて、子供の發達が害せられ、歩き始めの遅れたものも多數あります。四歳から五歳迄の子供のうち、四%は未だ足が立たぬものがありました。又、是等の子供に加ふるに、虛弱な爲や、榮養不良から起つた病氣の爲に、發育が逆行して、歩く能力を失ふた兒童が、四歳から五歳迄の間に、二七%もありました。五歳の子供の三分の一は歩く事が出来ないものでありました。第五、五歳の兒童の二六%は肺結核の徴候を示して居りました。

ポーランドは主として農業國でありますから、平和克復後、穀物の收穫が豊富になり、従つて食物の供給が充分になつて參りました。次に述べますのは、一九二一年の四月、五月、六月にわたつて、數箇所の孤兒院の兒童の健康狀態を調査した結果であります。體重、身長、健康狀態等を調査して、子供等を、榮養良好、榮養稍可、榮養不良と分類して見ますと、男の子は女の子よりも例によつて榮養がよく、コッペ博士の調査に比べますと、少しは良好になつ

て居ります。

次に興味ある生命統計表を一言して見ませう。

生産率——ポーランドに於ける生産率は、一八九一年から一九一八年間に於て、一〇〇〇につき四〇から一四・六までに減少しました。然しながら、一九一九年には、一〇〇〇につき二六・七、一九二〇年には二九・七まで増加をして來ました。

乳兒死亡率——ポーランドに於ける乳兒死亡率は、一九〇四年から一九一六年に至る迄は、一般に高く、一般死亡率の二五%も占めて居りました。或る地方の如きは、率が著るしく高く、例へば、バロツク地方に於ては、一〇〇〇につき三七四にもものぼつて居ります。勿論この期間に於ては、一般死亡率も高かつたのであります。

自然増加——死亡率よりも生産率が超過してゐるために人口が増加して行く割合は、一八九一年には、一〇〇〇につき一七でありましたが、一九一四年には、六に減じました。一九一七年には、一〇〇〇につき二四・二までのほりでしたが、一九一九年には三・七、一九二〇年には九・四となつて居ります。

乳兒及び兒童の死亡率と家族人數との關係——從來

度々問題とされてゐました、乳兒及び兒童の死亡率が、家族の人數の増加につれて、増すといふ事の著しい例が、ポーランドのワルソーとレズと云ふ二都市にあらはれて居ります。是等の都市に於ては、子供の死亡率は、二人の子供を有してゐる家族に於ては、一七・二%、三人以上の子供を有してゐる家族に於ては、五六・二%にのぼつて居ります。これを見ても兒童の死亡率と家族の人數との關係あることがわかります。

結 論

前に述べました諸國に於きましては、昨年以來、兒童保護の成績が大戦中又は平和克復後間もない時よりも、ずつと良好になつて來ました。又、この論文で述べてなかつた他のヨーロッパ諸國に於ても、同様に、保護事業が恢復されてまゐりました。戦争の悲惨な影響も、日月の經るに従つて常時の状態に復し、又大戦の災を餘り蒙らなかつた國々の寛大な援助に依つて、次第に前述の國々も恢復に向つて來て居ります。今や、兒童の健康に就いての研究や一般兒童問題は世界的な、又、切迫したる問題となりました、私は未來の研究に多くを期待してやまないであります。(『The Child』 三月號より)

會 報

○兒童愛護宣傳

昨年四月湯原前會長の發意で日本幼稚園協會によつて行はれた兒童愛護宣傳は、見事な成功を遂げ、其の結果として、全國各地にそれ／＼盛な同一の運動を見た譯であつた。「時は來れり」と叫ばざるを得ない。

昨年十一月帝國教育會が全國幼稚園關係者大會を特に開催して、此の方面の問題に對し更に一般の氣勢をあげた際、今年こそは全國一致、時を同うして兒童愛護の大々的宣傳を行はうといふことが決議せられ、その時期は、五月五日の子供の節句を中心として、その前後數日の間にといふことに申合はされた。

計畫は全國諸地に著々と行はれた。本會は特に此の舉を促すために、五月五日の申合はせ日を忘れないために、全國に向つて左の如き檄を飛ばした。

五、六、七日が、四、五、六日でも、かまわない要はその中に五日の節句を加え度いといふにある。勿論、此の檄を待たず、各地では全く自覺的に、それ

五月五日……この日ぞ
 六月一日……
 七日……

全國兒童愛護の宣傳日

講話に——展覽に——ポスターに——ビラに——此の日を忘れず兒童愛護の宣傳におつくし下さい——全國の人の目に——耳に——心に——實行に。

それ非常の熱心を以て計畫が行はれたのである。殊に大阪や京都の盛な大仕掛けな意氣込みは、まことに驚嘆すべきものであつた。

○

東京は、昨年の全國保育關係者大會で、此の運動の主動者として、日本幼稚園協會と、東京市保育會とが托せられて居た。二つとも微力な會である。殊にいろ／＼の事情で計畫に著手する時機がおくれて居た。到底、大した宣傳は出来ないといふ危まれた。けれども出来るだけやつて見様といふ熱心は、兩會の幹部のうちに牢固たるものがあつた。そして、派手ではないが相當の活動を試みたのである。

一、色刷ポスターをつくつて、市内の各巡査派出所、大商店、湯屋、其他市内各所に掲げた。そのポスターは、中央に桃色地に白ぬき大字で、こども第一、家の寶、國の寶と大書し、右に綠字で、「わが子かわいきや、ひとの子も」の標語をあらはし、左に「兒童愛護デー」、五月五、六、七日、主催、日本幼稚園協會、東京市保育會と記した。桃色と、若草色との可愛らしい色あひが人の目をひいた。

一、ポスターと同じ標語と、市内十一ヶ所で行ふべき兒童愛護講演會の案内を刷り込んだビラをつくつて、市内、小學校、幼稚園の手を経て、各家庭に配布した。

一、講演會は三段の陣立てにした。第一は主として社會的兒童愛護の稍々理論的講演とし、六日の午後一時半から本郷區帝國大學學生基督教青年會館に開いた。第二は兒童愛護の一般的通俗講演で、六日の夕六時半から市内の小學校に於て開いた。第三は、市内外の保育所に於て、其の地方に適切な通俗的講演會を開いた。其の講演の種類は左の通りである。

◎五月六日午後一時半

○本郷區、帝國大學學生基督教青年會（本郷追分町）

一、挨拶

東京女高師校長 茨木清次郎君

一、歐米に於ける兒童愛護の近狀

東京女高師教授 倉橋惣三君

一、兒童福祉運動

內務省囑託 生江孝三君

一、社會教育上より見たる兒童保護

文部省社會教育課長 乗杉嘉壽君

◎五月六日午後六時半

○麴町區、麴町小學校（麴町區元園町）

一、温情

女子學院長 三谷民子君

一、不良少年に就て

警視廳警部 齋藤清吾君

○京橋區、京橋小學校（京橋區金六町）

一、小兒の神經質と其取扱方

醫學博士 太田孝之君

一、家庭教育

文學博士 下田次郎君

○小石川區、大塚小學校（小石川區大塚仲町）

一、子供の育て方

醫學士 竹内薫 兵君

一、親たるつとめ

東京市視學長 佐々木 吉三郎君

○淺草區、千束小學校（淺草千束町）

一、學齡兒童に注意すべき二三の病氣について

醫學博士 栗山 重信君

一、幼兒の保護

東京女高師教授 藤井 利譽君

○本所區、江東小學校（本所區相生町）

一、家庭の教育

青山女學院學監 塚本 はま君

一、少年感化の現狀と其の救済

家庭學校長 留岡 幸助君

○五月五日午後六時半

○新宿、二葉保育園分園（新宿南裏）

一、親と子

労働矯風會々長 杉浦 義道君

一、子供の心を

女高師教授 大江 壽美君

○五月六日午後六時半

○日暮里、櫻楓會托兒所（日暮里元金杉）

一、子供の教育と世の中の出来ごと

室町市五郎君

一、こどもの爲めの家庭の注意

東京府兒童保護員 三輪 壽雄君

一、餘興、講談

○深川、元加賀小學校（深川區元加賀町）

一、私共の愛兒の教育

東京市社會教育課長 大迫 元繁君

一、私の見たる米國の兒童保護

東京市社會局囑託 山田 忠正君

一、餘興

○五月七日午後六時半

○龜戶、福田會保育所（市外龜戶町）

一、眞に子供を愛せよ

東京府兒童保護員 松永 大俊君

一、子供に對する心がけ

一、餘興

○麻布、古川橋保育所（麻布古川橋）

一、兒童愛護の中心

一、親の苦勞

多川 幾造君

倉橋 惣三君

一、餘興

○

こんどの兒童愛護宣傳で特にねらつたのは、社會的の兒童愛護であつたが、それを目からと耳からと宣傳するばかりでなく、何か實際のことでといふ考へがあつた。その一つとなつて行はれたのが、兒童の無料診察である。醫學博士弘田長氏の特別な御援助のもとに、篤志を以て此の計畫を助けて下さる醫師の方を煩はし、此の爲に喜んで場所は勿論多くの手配りを與へて下さつた保育所の好意によつて、極めて小規模ながら、之れを行ふことが出來たのは、此の宣傳の恐らく第一の仕事であつた。八日は麻布古川橋保育所に於て、午後三時から五時迄、醫學博士森鑽太郎氏及び醫師梶谷俊三氏を煩はし、九日は龜戸町、福田會保育所に於て、午後四時から六時迄、醫師前田文貞氏及び醫師赤坂美佐子氏を煩はし、附近兒童、殊に幼兒の健康診斷をした。多數の子供に對し、各醫師の方々、極めて熱心に診察せられ、

それ／＼必要な注意を母達に個人的に與へられ、時には處方をさへ與へられた。勿論、一時的のことであつて、充分の治療は出來るものでなしそこには醫家の方々も極めて遺憾とせられたが、母親の氣のつかない處を見出して教えてやり、一寸した注意で治ることに必要な手當を與へてやり、子供達は勿論、家庭の爲に、どんなに有益なものであつたらうか。こういうことは永續的でなければ充分効果がないといふことは勿論である。しかし、一般的の衛生講話もそれ／＼の効果が有り、家庭の爲、子供の爲常に行はるゝ處とすれば、こうして實際的に、實地的に、具體的に、個別的に與へられる衛生上の注意が、どんなに有益なものであらうか。論よりも事實が之れを語つて居るのである。且つ我國社會的兒童愛護の最も急務として、兒童の健康相談所を澤山設くる必要がある時、これ亦一つの有効の宣傳となるものと信するのである。實際に其の光景を見、醫師の方々の熱心なる親切と、親たちの喜びと、目に見ゆる様に明かな子供達の幸福を見たものは、皆大きな印象を得た譯であつた。この爲本會は、特に、醫家諸先生の尊志を厚く厚く感謝して居る。

共益商社書店新刊

水谷式夫先生著
幼兒オペラ

第一編

雀の御宿 兎と狸

定價金八拾錢
送料 八 錢

純然たるこどもさんのオペラです幼稚園小學校の御子さんにも容易にできるかはいいい本書を是非御用意下さい

水谷式夫先生著
略譜より本譜へ

定價金六拾五錢
送料 六 錢

略譜はやさしい本譜は「ハケ敷い」とお仰せになる方は本書を御覧なさい略譜と本譜が比較してあります故一讀判然

福井直秋先生著
ヘルプスト單唱歌

定價金六拾五錢
送料 六 錢

著者が自信ある作曲の發表です此頃自稱作曲家がものした駄本と御比較下さい如何に本書の内容が充實せるかを

井上武士先生編
二部合唱曲集

定價金九拾錢
送料 八 錢

井上武士先生が容易に歌はれる様に苦心して編纂せられしものです四六倍判歌曲二十有五曲皆有名の傑作曲集です

水谷式夫先生著
對話唱歌

第十三編寶槌
第十四編花あらそひ

定價金參拾五錢
送料 四 錢宛

いよ／＼第拾四編迄刊行いたしました本編は料を能狂言にとり其の爛熟せる内容は益々好評に全國に波及す

北村泰三先生著
小兒

獨唱歌

定價金參拾錢
送料 貳 錢

著者が初めて公表せられし各曲です歌は土井晚翠先生の作

松島聲作曲
童謡かゆめ

定價金參拾錢
送料 貳 錢

學習院の先生で女流作曲家の白眉である著者の會心の作です歌はおなじみの法月歌客先生の作みるからに美しい本

東京府女子師範學校

附屬幼稚園御考案

ピョンタロカルタ

が立派に出来ました

- ◎小冊子に説明と遊戯法が載せてあります
- ◎唱歌の樂譜も付いてゐます
- ◎形が大きくて紙が厚く繪入色刷です

小冊子の序文中に **田中同校主事**曰く

- △……句といひ繪といひ頗るよく出来たので
- △……思はず感嘆の聲を放つた譯である……

著者たる **同校保母**の緒言中の一句に

- △……カルタが教育上少なからざる效果あるに係らず比較的重要視されなかつたのは其の内容及び表現法が幼兒の實生活に觸れない點があつたからでこのカルタは此の點に最も注意した……

發賣元

東京 九段 **フレーベル館**

